



2024.06.18

パートナーシップ戦略による 企業価値向上に向けて

セイノーホールディングス株式会社 (9076)

目次

01

ロードマップ2028における当社の成長戦略

02

三菱電機/三菱電機ロジスティクスとの
パートナーシップ戦略による企業価値向上

03

セイノーHDにおける成長の道すじ

Appendix

本日本お伝えしたいこと



- 三菱電機様が保有する三菱電機ロジスティクス普通株式の一部（66.6%）取得に係る株式譲渡契約書及び、本取引後の三菱電機ロジスティクス様の事業運営等に係る株主間の取り決めを定めた株主間契約書を6月18日に締結いたしました。
- 三菱電機ロジスティクス様は長年にわたり三菱電機グループの物流を担い、エレクトロニクス分野における製品知識や、専門性の高い物流ノウハウを有しています。
- 三菱電機ロジスティクス様の有する物流ノウハウと当社の有する輸送ネットワーク、システム群を掛け合わせることで、三菱電機様、ひいてはエレクトロニクス業界に対し、大きな価値提供を図ることが出来ると考えております。
- 今回の締結は、ロードマップに沿うものであり、当社の競争力の強化、全てのお客様へのサービス品質の向上、ブランド価値の向上など、ロジスティクス領域における成長課題を克服し、企業価値を高めると確信しています。
- DOE4.0%の配当方針に変更はありません。中期的には、成長投資と株主還元のバランスを意識した経営でROE8.0%以上を目指します。
- Team Green Logisticsを推進して、企業価値・社会価値を高めます。



01

ロードマップ2028における当社の成長戦略

当社が目指すもの

～Team Green Logisticsを加速～



ロードマップ2028 スローガン

企業や業界の垣根を超えた 「共創」による 持続可能な社会の実現

『Team Green Logistics』

～ 共に創り 未来に貢献する ～



日本が直面している少子高齢化や環境問題などの社会課題に対し、持続可能な物流ネットワークの最適化が必要である

我々は、オープン・パブリック・プラットフォームの概念のもと、サプライチェーン全体において環境配慮を促すため、顧客ならびに様々なパートナーとの連携を強化し、チーム一丸となって「Green物流」を共創していく

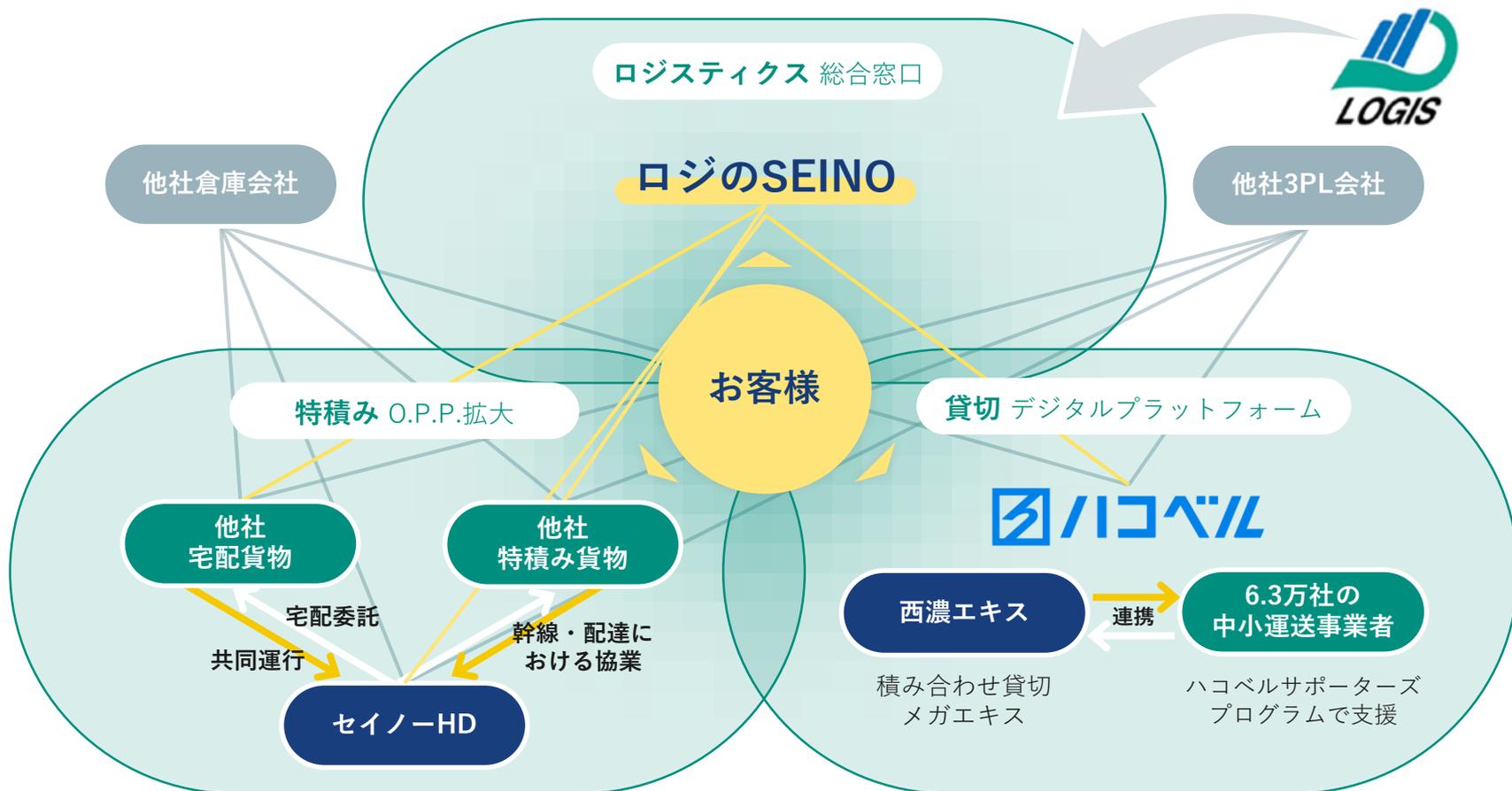
だからこそ、従業員ひとりひとりが企業理念に則り、互いを尊重し、お客様から選ばれる「物流を超えた」企業となるべく、「心をつなぐ」ことで未来に貢献する

- **お客様に成り代わるロジスティクスサービスの提供**
- オープン・パブリック・プラットフォーム（O.P.P.）の拡大による輸送効率の向上
- デジタルプラットフォームを活用した貸切拡大など、自社の物理的限界に左右されないサービス提供
- CVC投資など生産性向上（省人化・効率化）につながる新しいイノベーション

当社が目指す Team Green Logisticsの全体像



ロジスティクス・貸切・特積みの3つの領域を中心に他社連携を強化し、
物流の川上から川下、すべての領域においてお客様の繁栄に貢献

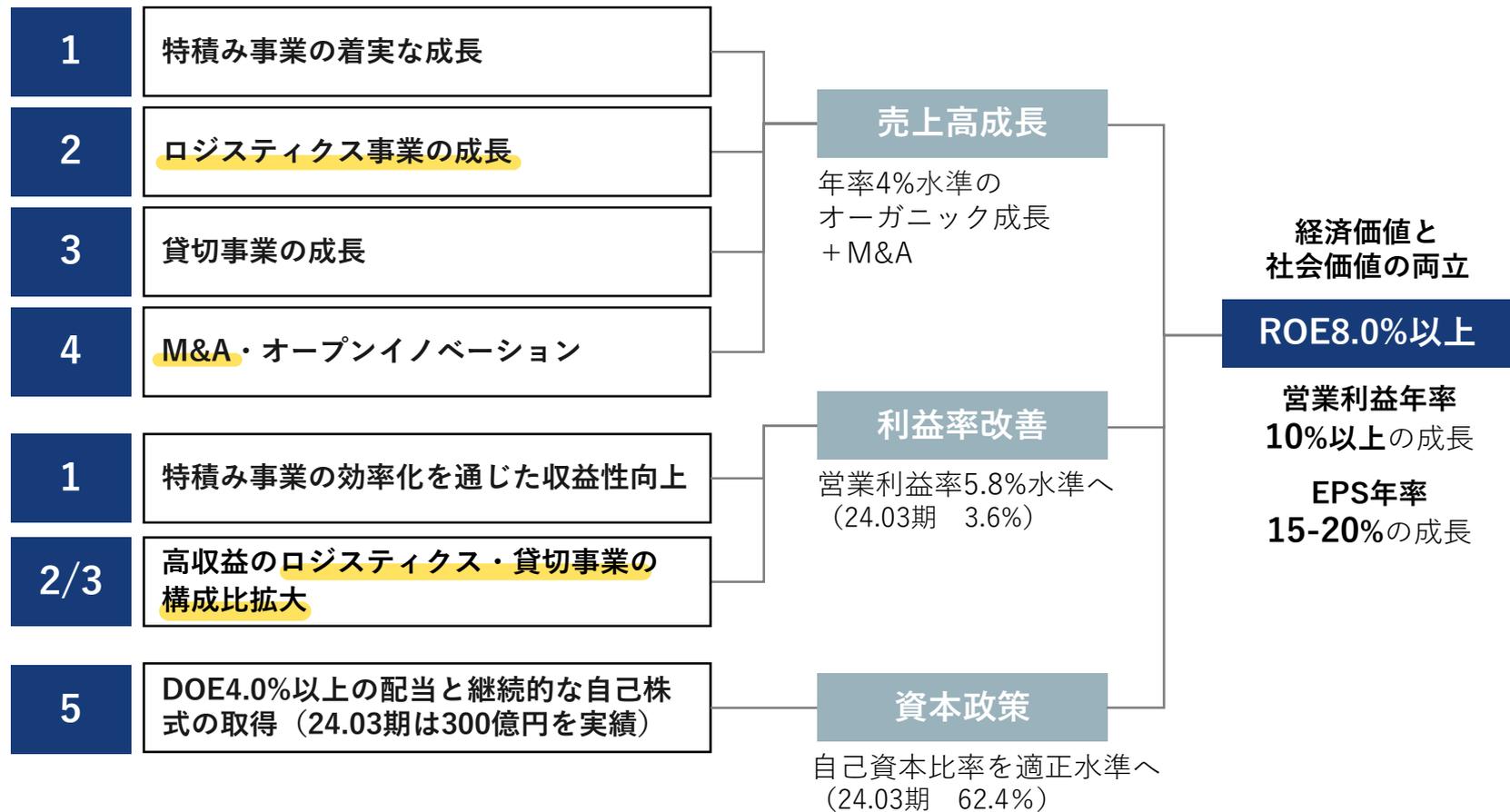


ロードマップを実現する上での行動指針 ～逆ROEツリー～



稼ぐ力の向上、積極的な株主還元で、3-5年以内にROE8.0%達成を目指す

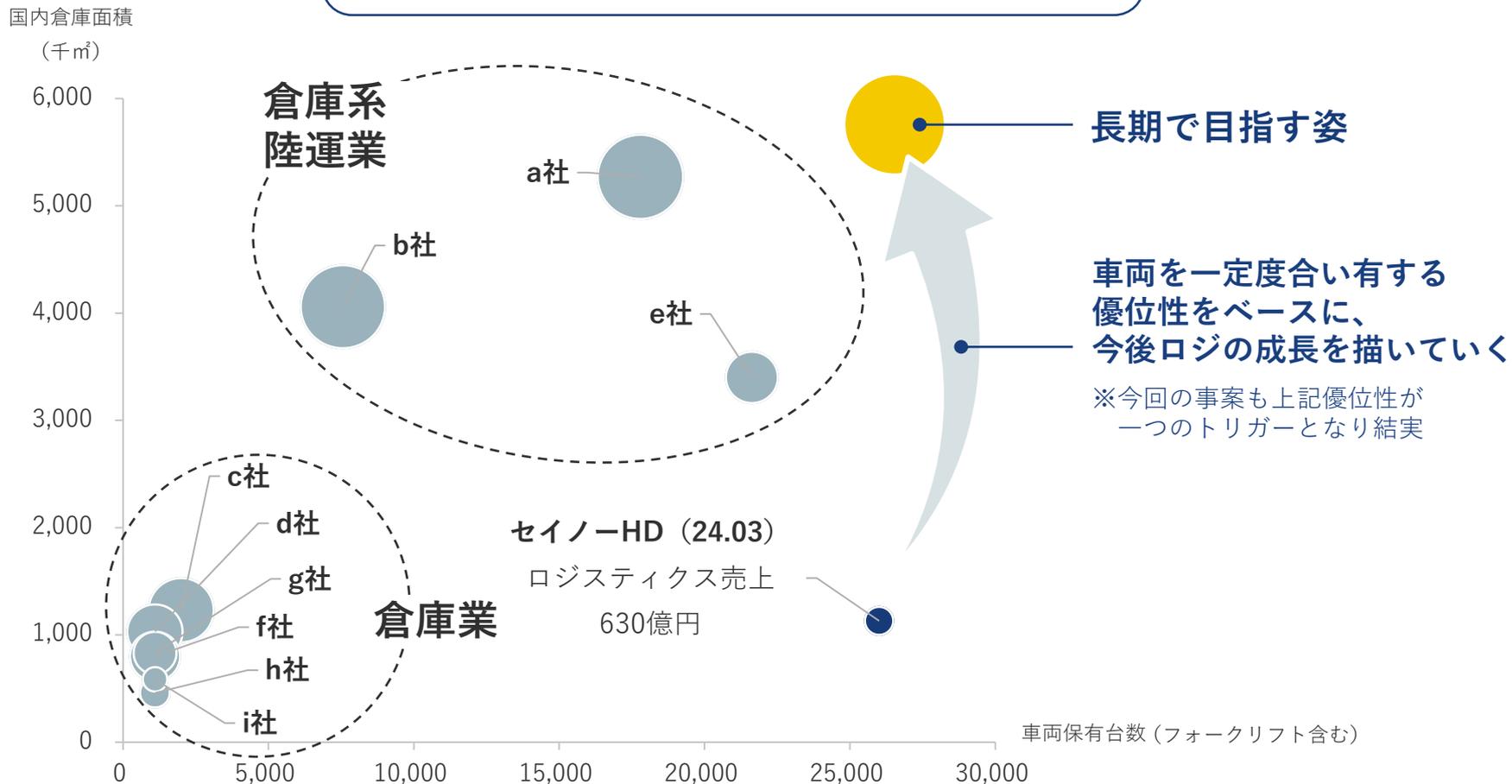
ROE改善のドライバー



重点施策であるロジスティクスの戦略



倉庫面積、保有車両、ロジスティクス関連売上高の同業他社比較



※円の大きさは売上高を表す。

※2023年3月期決算をもとにロジ関連における売上高にて作成。保有車両台数は会社開示を基に当社作成。

ソリューション別ロジスティクスの推進



成長市場における専門性を担保したロジスティクス展開で収益性の向上へ

3つの注力分野

エレクトロニクス・ソリューション事業部

オートモーティブ・バッテリー物流事業部

ヘルスケア・ソリューション事業部

戦略

- メガフォワーダーの産業別ソリューション展開に準じ、グローバル企業のサプライチェーン最適化を実現
- 重点3分野におけるロジソリューション事業部をセイノーホールディングスに組成（2023.4）
- 顧客の環境の変化や、需要拡大に対応できるサプライチェーンの最適化を連携パートナーと共に支援
- 施設展開・M&Aも視野に積極的な投資を実施

02

三菱電機/三菱電機ロジスティクスとの パートナーシップ戦略による企業価値向上



三菱電機ロジスティクス会社概要



会社概要

会社名	三菱電機ロジスティクス株式会社 ※新屋号は、現在のところ未定
設立	1958年7月1日
売上高	1,063億円（単体 2024.03実績）
営業利益	31億円（単体 2024.03実績）
従業員数	（単体）998名 （グループ総数）2,811名
延床面積	486,951㎡（全国35ヶ所）
車両数	自社車両数 約250台 パートナー車両数 約2,500台

サービス概要



生産・調達物流
ソリューション



販売物流
ソリューション



国際物流
ソリューション



建設
ロジスティクス



重量品輸送・精密
機器輸送サービス



半導体・電子部品
物流サービス



法人向け移転・
搬出・搬入サービス

■ISTA認定を受けた技術力と設備を備えた包装技術センターを保有



貨物評価



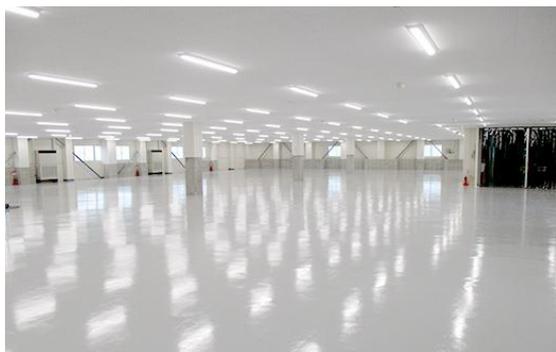
材料評価



専門性の高い物流技術が 三菱電機ロジスティクスの強み



- 三菱電機ロジスティクスは、三菱電機グループで培ったノウハウを基に、多彩な製品を安全・確実にお客様へお届けする、トータルロジスティクスサービスを提供
- 振動・静電気・塵埃に弱い半導体・電子部品に最適な倉庫環境や、特殊容器の開発を用いた輸送環境など、エレクトロニクス業界における最先端の物流技術を持つ



半導体保管のための防塵環境



電子部品向け防塵包装



静電気対策を施した半導体の数量仕分け作業



輸送中の機器の状態を把握する
データロガー

セイノーグループの機能を活用し メーカー物流の最適化・効率化を支える



三菱電機ロジスティクスのエレクトロニクス領域における豊富なノウハウに、セイノーグループの物流ソリューションを掛け合わせることで、+αの価値提供へ



+αの価値提供

国内における輸送力

日本国内で業界トップクラスの車両供給力による安定したサプライチェーンの維持、最適化

強固な国際ネットワーク

DBシェンカー、HEX（阪急阪神エクスプレス）のネットワークを活用した国際サプライチェーンの最適化によるコスト抑制

全世界をカバーする物流ITソリューション

国際物流の一気通貫管理を可能とする物流ITソリューションの提供により、全世界における在庫の可視化、コスト管理など、複雑な国際物流の効率化



三菱電機は、三菱電機ロジスティクスが、セイノーHDの有する国内・海外の輸送インフラ、情報システム及びデジタルプラットフォーム等を活用することにより調達から販売までの物流をさらに効率化するとともに、より安定的な供給網を確立することを期待しております。

三菱電機株式会社 常務執行役 武田 聡 様

国内物流の最適化・効率化につなげる 当社の機能



セイノーグループ有する既存倉庫の活用、ならびに新たな施設投資を含めた需給対応

三菱電機ロジスティクス有する物流センター機能に限らず、セイノーグループ有する物流センター機能を活用することで、三菱電機の需給に対し柔軟な対応が可能

物流センター



約**118.8**万㎡
(280拠点)



約**48.7**万㎡
(35拠点)

ハコベルを活用した車両の安定供給

デジタルプラットフォームを展開するハコベルの車両供給力を活用する事で、2024年問題やドライバー不足による運べないリスクに対しコンプライアンスに準拠した車両の安定供給に貢献



積み合わせ貸切、共同輸送の実施による効率化など

中ロット貨物に対する積み合わせ貸切輸送「メガエキス便」の活用など、共同配送を通じた積載率の向上による、輸送コストの抑制

調達物流における更なるサプライチェーンの最適化

全国ネットワークの優位性を活かし、全国のサプライヤーからの集荷や、工場への一括納品を行うことによって運送コストの抑制と共に三菱電機の業務負担を軽減

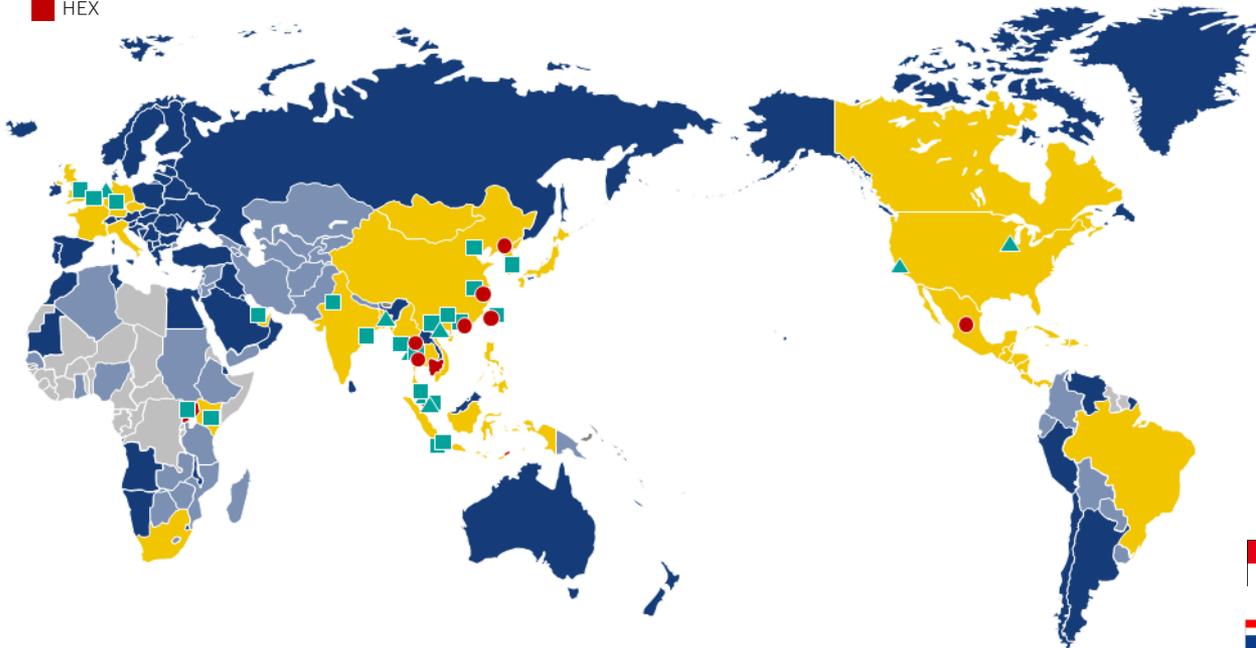
海外物流の最適化・効率化を支える 当社の機能



- 国際パートナーであるDBシェンカーが有する海外ネットワーク（世界の96%をカバーする1,850拠点）と、HEXが有する海外ネットワーク（海外28の国と地域、150拠点）を用いた国際貨物輸送
- アジアにおける現地財閥系物流企業との合併企業を通じた顧客サービスの強化による、三菱電機の海外事業の拡大に貢献が可能

当社の海外ネットワーク

- DB Schenker & HEX
- DB Schenker
- DB Schenker Partner
- HEX
- 三菱電機ロジスティクス現地法人
- ▲ 西濃シェンカー海外拠点
- HEX現地法人



DB SCHENKER

海外拠点数：**1,850**拠点
従業員数：**76,600**名

DB SCHENKER 西濃シェンカー株式会社

従業員数：**689**名

HANKYU HANSHIN EXPRESS

海外拠点数：**150**拠点
従業員数：**3,598**名

----- 現地財閥系物流企業との合併 -----



成長市場を支える新たな海外展開



経済成長著しいインドにマヒンドラロジスティクス社との
合併会社設立により日本企業のインド市場へのアプローチに貢献



mahindra
LOGISTICS

合併会社名 **Seino MLL Logistics Private Limited**

所在地：Gurugram (Gurgaon)

mahindra LOGISTICS



売上：約900億円

延床面積：170万㎡

インド国内拠点：300ヶ所以上

トラック使用台数/月：15,000台以上

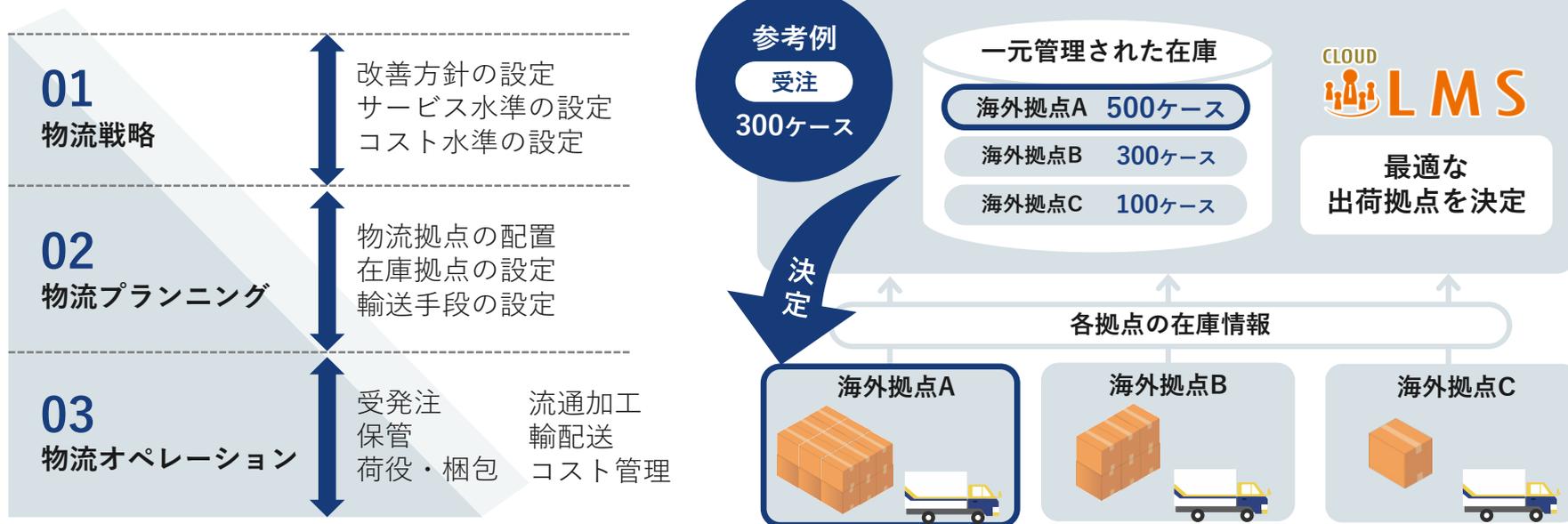
国内と海外をシームレスに結ぶ 物流ITソリューション



セイノー情報サービス有する物流ITソリューションにより
グローバルサプライチェーンの最適化に貢献

世界各国を繋ぐ物流統合管理「LMS」の機能

- 3つのマネジメントレベルから、ロジスティクスマネジメントをPDCAサイクルで支援
- 拠点在庫を一元管理することにより、配送コスト・出荷リードタイムを加味した中で最適なロジスティクスを提供



更なる成長に向けた エレクトロニクス領域の拡充



セイノーグループの顧客基盤を活用した 新たな販路の開拓

セイノーグループの顧客基盤に対するアプローチ

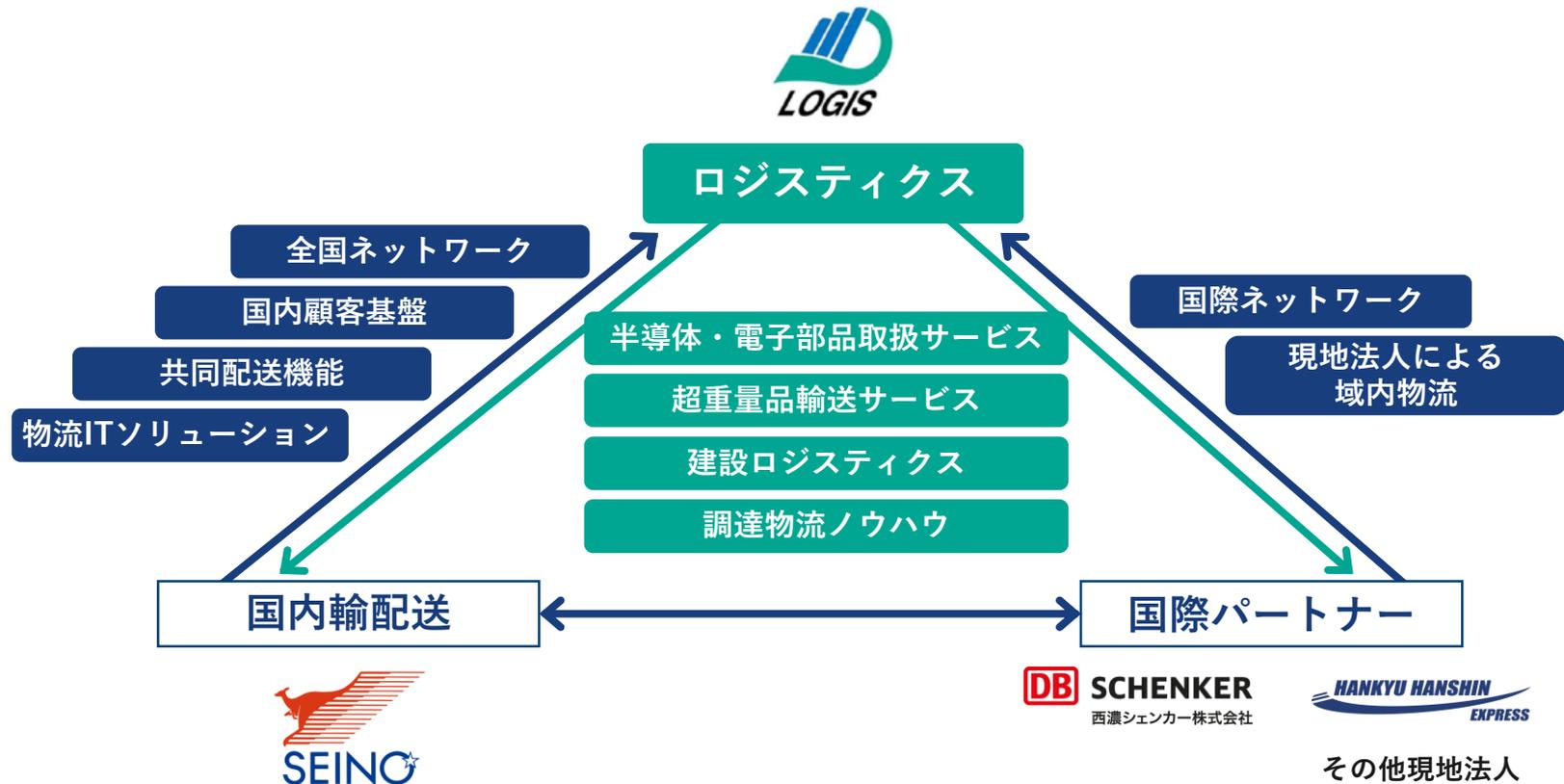


- 優れた包装技術を活用した、顧客の包装に関わる様々なニーズへの対応
- 共同輸送の推進による効率化の追求とコスト抑制
- 三菱電機ロジスティクスの自社保有車両を活用した重量・超重量品輸送における豊富な実績とノウハウ

パートナーの機能を 最大限発揮する運営体制



三菱電機ロジスティクスを国内と海外を結ぶロジスティクス事業における
中核会社として成長させるべくエレクトロニクス領域を皮切りに連携を深めていく



03

セイノーHDにおける成長の道すじ



成長におけるステップ



三菱電機への価値提供を確実なものとし、その過程で培ったノウハウを新たな顧客へ水平・垂直展開することで、更なる成長を目指す

更なる成長へ

セイノーグループ有する顧客基盤を活用した新たな販路の開拓

三菱電機への
サービス拡大

三菱電機ロジスティクスの機能にセイノーグループの物流ソリューションを組込むことで、三菱電機の物流を最適化

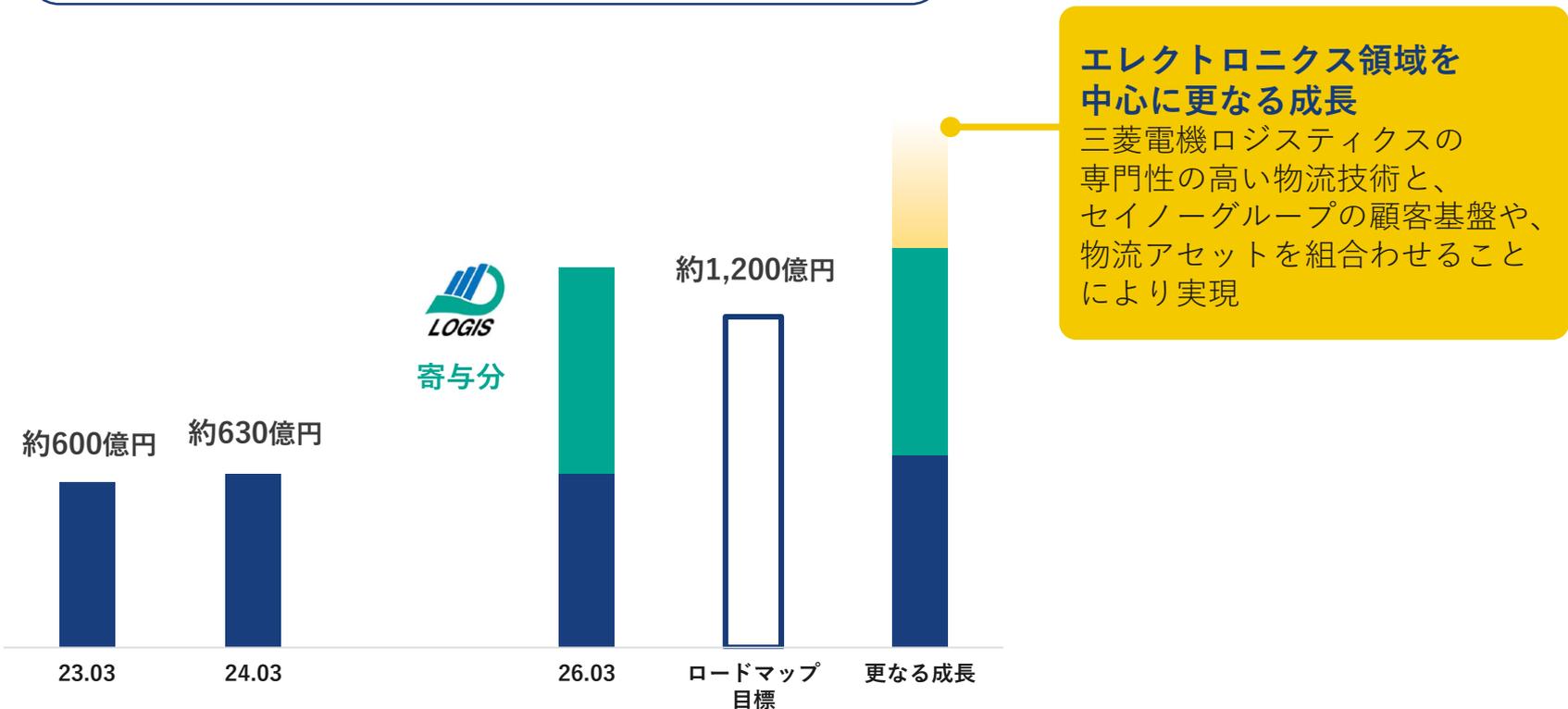
三菱電機ロジスティクス
のグループIN

セイノーHD業績の見通し ～ロジスティクス事業～



三菱電機ロジスティクスの高い物流技術により、
セイノーグループのロジスティクス事業を飛躍的に成長させる

セイノーグループのロジスティクス事業における成長（売上高）

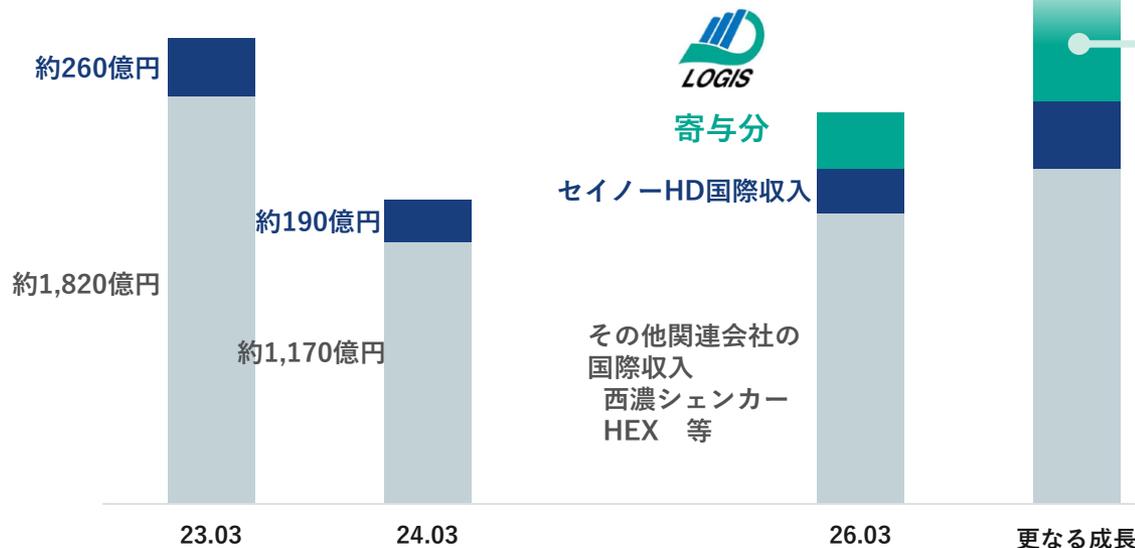


セイノーHD業績の見通し ～国際物流～



セイノーグループの国際物流ネットワークを用い
三菱電機のグローバルなサプライチェーンの最適化を支援することで、共に成長

セイノーグループの国際物流における成長（売上高）



メーカー国際物流の
ノウハウ蓄積による成長

三菱電機への
更なる価値提供
三菱電機のサプライ
チェーンに対し、三菱
電機ロジスティクスが
受託しきれていない、
国際物流に対する受注
範囲の拡大

※その他関連会社の国際収入は
持分法適用会社のため、当社の連結外。

BS結合イメージ



手元資金を成長投資に投下し、三菱電機ロジスティクスの株式を572億円で取得

三菱電機ロジスティクス BSイメージ



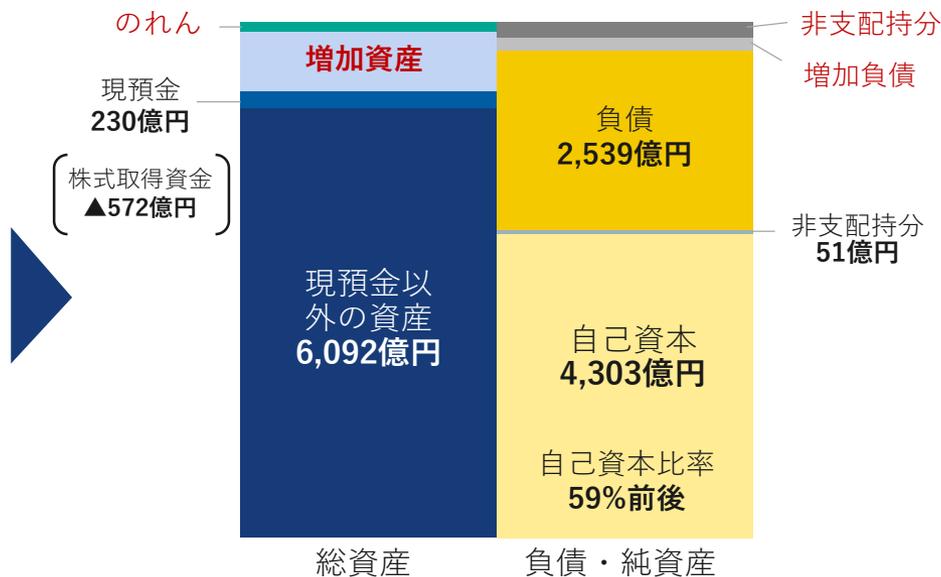
25.03期予想を含めた連結BS・PLへの影響は、現在精査中のため、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせします。

セイノーHD連結BS(24.03期)



非支配持分 51億円

BS結合イメージ (※)



※ セイノーHD24.03期実績をベースにしたBS結合イメージです。実際は、24年9月末の三菱電機ロジスティクス連結数値にて連結への取り込みを予定しております。

最後に



- 私たちは、日本が直面している少子高齢化や環境問題などの社会課題に対し、持続可能な物流ネットワークを構築することにコミットします。
- 今回、新たな仲間となる三菱電機ロジスティクス様とシナジー効果を最大限発揮し、共同配送やシェアリングなど新たな物流モデルを積極的に展開することで、迅速かつ信頼性の高い最適な物流ソリューションを提供する体制を構築いたします。
- 今回の出資事案を一つの事例に、様々なパートナーとの連携を一層強化します。業界の再編が良い形で進むことで、業界で日々、働いている人たち、それぞれの企業、社会の価値が高まることを信じています。
- オープン・パブリック・プラットフォームの概念のもと、今後もチーム一丸となって「Green物流」の実現に向け取組みを加速していきます。
- すべてのお客様や、物流業界にとって価値あるサービスを提供し続けることをお約束するとともに、持続可能な未来に貢献する企業集団としての役割を果たしてまいります。

Appendix.

グループ会社紹介



西濃シエンカー



西濃シエンカーは国際物流のリーディングカンパニーであるDBシエンカーと、企業間物流の最大手である当社との合弁子会社です。

多様な業種のお客様に対して、最適なロジスティクス・輸送ソリューションを提供しております。

会社概要・沿革

会社名	西濃シエンカー株式会社
区分	持分法適用会社
設立	2002年（創業1964年）
従業員数	689名（2024年3月時点）

事業概要・実績



航空輸送



海上輸送



コントラクト
ロジスティクス



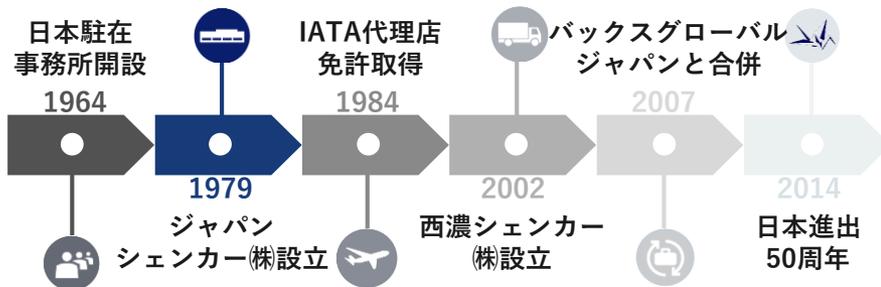
展示会



引越



グローバル・
プロジェクト



海上貨物(2019年)
51,238件

72,001 TEU(FCL)
58,003 CBM(LCL)



航空貨物(2019年)
191,711件

73,296トン



通関件数(2019年)
輸出68,490件

輸入95,741件



阪急阪神エクスプレス



阪急阪神エクスプレス（HEX）は、国際航空貨物輸送、国際海上貨物輸送、ロジスティクス、通関業務等を手掛ける、当社のグループ会社です。

当社はHEXの国際ネットワークを活用し、お客様のサプライチェーンを国内外でサポートしております。

会社概要

会社名	株式会社阪急阪神エクスプレス
区分	持分法適用会社
設立	1999年
従業員数	3,598名（2024年3月31日現在）

サービス概要



国際航空貨物輸送



国際海上貨物輸送



ロジスティクス



通関業

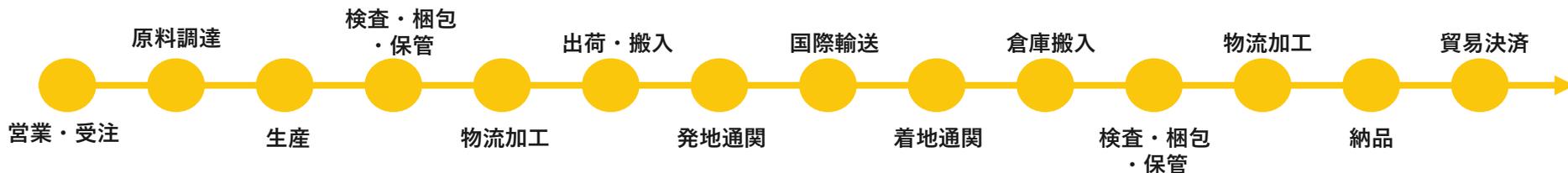


国内輸送

航空輸出混載重量
3.6万トン（2023年）

航空輸入通関件数
11万件（2023年）

サプライチェーンを支えるサービス展開



セイノーロジックス



セイノーロジックスは、1986年に設立（旧：セイノーボテイナー）された日本における海上混載輸送のパイオニアです。混載輸送に特化した企業として、複数の混載輸送サービスを提供しております。

会社概要

会社名	セイノーロジックス株式会社
区分	連結子会社
設立	1986年
従業員数	102名（2024年3月現在）

沿革

1986	西濃運輸のボテイナーセクションとして業務開始 ファン・オメレン社（蘭）60%、西濃運輸40% 出資により セイノー・ボテイナー株式会社設立
1990	業務拡張に伴い、セイノー・ファン・オメレン株式会社と 社名変更
1993	社名をセイノーロジックス株式会社に変更
1997	連結子会社化

サービス概要

輸出混載サービス



輸出混載サービスは、全世界450ヶ所へ1コンテナに満たない小口、中ロットにも対応し、近年のコンテナ不足など有事の際にも安定した供給実績がございます

地方港混載サービス



地方港混載サービスは、世界350ヶ所へ輸送ができ、遠くの主要港まで運ばなくても工場や倉庫の最寄りの港から世界へつながります。

その他のサービス

危険品混載
サービス

輸入特急便
サービス

輸入混載
サービス

食品混載
サービス

冷蔵混載
サービス

冷凍混載
サービス

FCL
サービス

アルコール飲料用タンクコンテナ
輸送サービス

セイノースーパーエクスプレス



セイノースーパーエクスプレスは、多様化するビジネスニーズに応えるべく、日本経済を支える物流企業の一旦を担う責任と誇りを持って、法人向けソリューションの開発・提供に力をいれております。

会社概要

会社名	セイノースーパーエクスプレス株式会社
区分	連結子会社
設立	1959年
従業員数	2,150名（2024年4月1日現在）

沿革

1959	湖東陸運株式会社、伊豆運送株式会社、池袋通運株式会社の三社が合併し、西武運輸株式会社として営業を開始
1973	伊豆箱根陸運株式会社を吸収合併
2009	セイノーホールディングス株式会社の傘下となる
2012	九州西武運輸株式会社を吸収合併
2014	「西武運輸株式会社」を「セイノースーパーエクスプレス株式会社」に商号変更

サービス概要



国内輸送事業（Express便）

国内に160を超える拠点を配置した強力なExpress輸送ネットワークハブ・アンド・スポーク方式でのトラック輸送および航空便を組合せ、発地より全国翌日配達を実現 1日あたり定期便506便



海外輸送事業

IATA公認代理店として日本各地と世界200ヶ国12万都市を結ぶ国際ネットワークを活用した輸送サービスをワンストップで提供

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問合せ先

セイノーホールディングス株式会社 財務IR部

〒503-8501 岐阜県大垣市田口町1番地

TEL：0584-82-5023 FAX：0584-82-5043

<http://www.seino.co.jp/seino/shd/>

E-mail：i.r@seino.co.jp